

# 平成 30 年度 事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人...チョウタリィの会

## 1 事業の成果

- 「困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業」については、当期においても、タイの HIV に感染者を家族に持つ子どもたちへの就学等の支援を行いました。HIV 感染者を家族に持つ家庭は、生活に困窮している状況が続いています。支援を受けている子どもたちから年に 2 回手紙と写真が送られてきます。その手紙には、学校に通うことができ、未来に夢を持つことができる喜びが伝わっています。
- 「ネパールの教育保健支援」においては、カウンターパートの MGIA からチョウタリィ・ネパール (CN) を通して小児がん等で入院している子どもたちへの保健支援、救急車の購入費の一部支援を行いました。この活動は、現地の新聞にも取り上げられました。
- 「途上国における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業」においては、当法人が 2010 年より行っている「ネパールにおける公立学校新校舎建設支援プロジェクト」の 20 校目のカリ・デビ学校 (カブレパランチョーク郡)、21 校目のブッダ・バグワン学校 (ラリトプル郡)、22 校目のマニケル・ローワー学校 (ラリトプル郡) の 3 校の新校舎が完成しました。



2015 年のネパール大地震で損傷したカリ・デビ学校 (左) とブッダ・バグワン学校 (中) マニケル・ローワー学校 (右) の旧校舎



カリ・デビ学校の新校舎



ブッダ・バグワン学校の新校舎



マニケル・ローワー学校の新校舎

3 校は、2015 年に起きたネパール大地震においてほとんどの校舎が損傷し、教室として使用するには非常に危険な状態となってしまいました。また、雨季においては雨漏れ等の問題が起これ、安全面のみならず環境衛生面においても授業が円滑にできない状態でした。また、生徒数に対して教室の数が不足し、実質的には学校に通えない子どもも多くいました。

また、ラリトプル郡の 2 校へつづく道は、ほとんどが未舗装で四輪駆動車でなければ通ることができないと

ても険しく危険なため、2校とも他のNGOなどからの支援が全く受けることができない状況となっていました。

当プロジェクトは、大地震後にネパール政府が新たに制定したガイドラインに基づき校舎を建設しました。同事業の成果として、新校舎が完成し両校の教室不足の問題がほぼ解消し、これまで教室不足のために学校に通えなかった子どもたちが学校に通うことができるようになりました。

また、校内の環境が安全になり、天候に左右されることもなく雨天でも円滑に授業を行うことができるようになりました。

当法人の校舎建設支援は、地域住民や教師等で組織された学校運営委員会（SMC）と協議を諮りながら建設支援を行っています。その結果、教師や生徒においては、教育に対する意欲や意識が高まり、また地域住民においても、女子を含めた教育の重要性をより深く感じてもらうことができました。

当法人が建設支援を行っている校舎は、これまで全て耐震構造により建設しています。ネパール大地震においても損傷した校舎はなく、地域の避難所として新校舎が利用されました。この度完成した3校の校舎においても当該地域の災害時の安全に貢献できるものと思います。

当プロジェクトは、ネパールの大きな問題である、貧困、他国への出稼ぎ労働、児童労働、人身売買等の問題の解消につながっていくものと思います。

なお、当期よりハヌマン学校（カブレパランチョーク郡）、サラスワティ・ベーシック学校（ラリトプル郡）の2校の新校舎の建設支援プロジェクトを開始しました。次期において完成する予定となっております。

- 新校舎建設支援活動に伴って、「国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業」として前期に校舎が完成したカリ・デビ・ハイヤー学校、ジャナ・カルヤン学校と当期に完成したマニケル・ローワー学校、ブッダ・バグワン学校、カリ・デビ学校の5校の新校舎開校式に出席しました。



カリ・デビ・ハイヤー学校での開校式



ジャナ・カルヤン学校での開校式



ブッダ・バグワン学校での開校式



マニケル・ローワー学校での開校式



カリ・デビ学校での開校式

カリ・デビ・ハイヤー学校、ブッダ・バグワン学校、マニケル・ローワー学校は、いずれもラリトプル郡の山岳地帯にあり、ジャナ・カルヤン学校、カリ・デビ学校は、カブレパランチョーク郡にあります。開校式には5校とも、生徒、教師、地域の人々そして市議会議員、村長、副村長などが出席して、日本とネパールの歌や踊り、生徒や教師との折り紙の講習などを行いました。生徒たちに学用品や折り紙のコマなどをプレゼントしました。また、ブッダ・バグワン学校、カリ・デビ学校においては、奈良市ボランティアインフォメーションセンターで集めていただいた奈良市の方々のご寄附の折りたたみ傘を両校に寄贈しました。開校式において、日本とネパールの友好を深めることができました。

「国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業」において、「奈良多文化共生音楽祭 2018」を奈良市の学園前ホールにて開催致しました。当音楽祭では、世界の多様な音楽文化や他国の人々の暮らしを紹介することによって、それらの国々の人々の文化や生活について理解を深め、共に平和に生きることができると多文化共生社会の実現をめざすことを目的として開催しました。今回で3回目となります。アラブ音楽 1 組、北インド宮廷音楽 1



アラブ音楽の演奏

組、西洋音楽2組の合計4組のプロの音楽グループが出演しました。また同音楽祭では、当法人の海外での活動についてプロジェクターを用いて説明し、ロビーにおいても活動の写真等のパネル展示を行いました。今回も多くの方々のご来場して頂きました。来場者へのアンケートの回答においても好評を得ることができました。同音楽祭を通して地域における多文化共生の重要性を感じて頂いたものと思います。

- 「途上国等における自立を目指す人々への協力事業」では、ネパールでのカウンターパートの TEWA と協働で行った女性の自立支援による製品の紹介を国内のイベントなどで行いました。また、カウンターパートの LGN に対しても女性の自立のための染色講習の計画準備を行い実施に向けた協議を行いました。ネパールにおける女性の自立に寄与することができる活動にしていきたいと思います。
- 「機関紙、刊行物、講演、展示会、ウェブサイト、映像上映等による広報及び啓発事業」においては、機関紙「チョウタリ通信」を作成し会員、支援者、一般の人々に配布しました。多文化共生社会の重要性を地域の人々と共に考え啓発するために国際交流のツールとしての折り紙教室を行い、また、子どもの健全育成を目的とした資料の収集を行いました。折り紙教室で作られたコマ等は、ネパールの新校舎開校式等で子どもたちにプレゼントしました。また、当期においても代表の山口悦子が大阪産業大学において国際ボランティアについての講義を行いました。
- 「関連団体及び関係する国際機関との相互協力」においては、奈良市ボランティアインフォメーションセンター主催の Hug<sup>2</sup> 祭り 2018 に参加しました。当法人の活動を来場者に知って頂くことができる活動となりました。
- 「災害復興協力事業」における東日本大震災被災地の女性の仕事作り支援については、当期においては、日光市の女性グループにクラフト製品の素材となる毛糸を届け、子ども用の毛糸の帽子、刺繍を施したバッグの製作を行いました。この活動を持続し、いきがいを感じてもらえることができる事業にしていきたいと思えます。



手作りの子ども用の帽子と刺繍を施したバッグ

ネパール大地震被災者支援として、当期においては先述しましたマニケル・ローワー学校にパソコンを寄贈しました。同校があるマニケル村は、ラリトプル郡の山岳地帯にあります。2015年に起きたネパール大地震においては同校も被災し、校舎等に大きな損傷を受けました。また、同校には、パソコンがなく、災害時においては、学校や生徒たちの被災状況等に関する事務が煩雑なため大変困難な状況となってしまいました。パソコンの導入により同校が以前より円滑な学校運営を行える体制が整ったものと思います。



パソコンの贈呈

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支給額(千円)
困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業	タイにおいてHIVに感染している家族を持つ子どもたちへの就学等の支援を行った。	通年	タイ バンコク ムクダハン県、 バンガー県	2名	HIV感染者を家族に持つ子どもたち10人	409
	ネパールでの小児がん等で入院している子どもたちへの支援及び救急車購入支援を行った。	通年	ネパール ダヌシャ郡	3名	病院で入院している子ども多数 当該地域住民等	795
途上国等における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業	ネパールにおいて老朽化し教室が不足している公立学校3校の新校舎が完成した。2校の新校舎の建設支援を開始した。	通年	ネパール ラリトプル郡 カブレパランチョーク郡	3名	校舎建設地域の子どもたち、住民、教師等 約13,859人	12,251
途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の環境改善を図るための協力事業	当期は実施しない					0
途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の人材育成を図るための協力事業	当期は実施しない					0
HIV及びAIDSの予防を目的とした啓発事業	当期は実施しない					0
HIV及びAIDS感染者の人権を擁護するための事業	当期は実施しない					0
途上国等における自立を目指す人々への協力事業	ネパールにおける自立を目指す人々への技術指導及び製品の紹介。	通年	ネパール ラリトプル郡 奈良市	3名	生産者及び授産施設で働く人々 約30人	335
国際協力及び海外事情の調査研究に関する事業	当期は実施しない					0

機関紙、刊行物、講演、展示会、ウェブサイト、映像上映等による広報及び啓発事業	事業活動についての講演を行った。	通年	大阪市 奈良市	3名	支援者 約500人	54
	機関紙「チョウタリイ通信」を作成した。	6月	奈良市	3名	不特定多数	64
	地域における多文化共生社会の推進啓発のための折り紙教室の開催及び子ども向け資料の収集を行った。	1月 2月 3月	奈良市	2名	参加者 24人	27
	大学において国際ボランティアについての講義を行った。	6月	大東市	2名	大阪産業大学の学生 約200人	4
社会教育及び政策提言事業	当期は実施しない					0
関連団体及び関係する国際機関との相互協力	Hug <sup>2</sup> 祭り 2018 に出展した。	12月	奈良市	4名	来場者 多数	19
災害復興協力事業	東日本大震災被災地の女性の仕事作り支援を行った。	通年	日光市 奈良市	3名	被災地の女性 約10人	129
	ネパール大地震で被災した学校にパソコンを寄贈した。	通年	ネパール ラリトプル郡	2名	当該学校、 周辺住民 約2,600人	144
国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業	ネパールにおける新校舎完成の公立学校5校の開校式に出席し、日本とネパールの交流を深めた。	2月 3月	ネパール ラリトプル郡 カブレパランチョーク郡	2名	校舎建設地域の子どもたち、住民、教師等 約1,200人	1,242
	アラブ音楽等他国、他民族の音楽文化等の紹介を行うため「奈良多文化共生音楽祭2018」を開催した。	6月	奈良市	15名	来場者等 約300人	482

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	支給額(千円)
イベント開催事業	当期は実施しない。	実施せず			0
文化教育事業	当期は実施しない。	実施せず			0

\* 報告書の金額表示は、原則として単位未満の端数処理を四捨五入で表示しているため、表中の金額と内訳の合計が一致しない場合があります。